

本講座は、大学博物館の特性を生かしながら様々なジャンルの芸術

活動に関わり、企画運営しつつアート・マネジメント人材を育てるプログ

ラムです。博物館に収められているいわゆる〈ミュージアム・ピース〉

の豊かさを引き出し、〈生きたアート〉として公開していく文化芸術ファ

シリテーターの育成を目指します。収蔵されている〈ミュージアム・

ピース〉について学び、それらを活用して新しいイベントを創出するこ

とで、大学博物館の基礎研究的な潜在力と市民との協奏による調査

や芸術実践の試みによる「リサーチ型ミュージアム」のあり方を探求し

ます。演劇、音楽、美術、パフォーマンスなどばかりではなく、自然科学

の領域までカバーして、理系文系問わない多様な文化領域に柔軟に

対応できるファシリテーター人材の育成プログラムです。受講生は、今

までにないような新しい展覧会やアート・イベント等を創出していつ

て欲しいと思います。そしてそれが広く関西や日本の文化芸術シー

ンを活性化することにも繋がっていくことを期待しています。

本講座では、1年を次の3つの期間に分けてプログラムを実施します。

座学や学外での活動を経て、展覧会開催の実地も行います。

[第1期] 全体的な理念、学知を学ぶ座学中心の学習期間

[第2期] (選択制)②～⑦の活動に参加し、具体的な研修を行う期間

[第3期] 研修成果を大学博物館において展示・上演する期間

展覧会の企画・開催・運営を最終的なゴールに見据え、演劇、音楽、

美術、パフォーマンスなどの現代芸術を広くカバーして、単に実務面

でのマネジメント能力のある人を育成するのではなく、コンセプトや内容

にまで立ち入って企画運営に関与できる人材を育成するのが目的です。

大阪大学総合学術博物館が主催し、大阪大学文学研究科との共催に

より、開講いたします。また本講座は平成28年度文化庁「大学を活用

した文化芸術推進事業」による助成を受けております。

本講座は、兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ビッコロシアター、能勢浄

るシアター、吹田市文化会館 吹田メインアター、あいおいニッセイ同和

損保 ザ・フェニックスホール、大阪新美術館建設準備室、公益財団

法人 益富地学会館、豊中市都市活力部文化芸術課などの芸術諸機

関の協力を得て行います。

「記憶の劇場」年間予定			
日 程	活 動 名		
2016年			
7月23日(土)	ℳ	#	①「『記憶の劇場』オープニング講座」
7月24日(日)	ℳ	#	
8月6日(土)	ℳ	#	⑥「紛争・災害のTELESOPHIA」
8月11日(木・祝)	ℳ		⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」Vol.1
8月12日(金)	ℳ		⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」Vol.2
8月13日(土)			⑥「紛争・災害のTELESOPHIA」
9月9日(金)	ℳ	#	⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」Vol.2
9月10日(土)	ℳ	#	
9月11日(日)			⑥「紛争・災害のTELESOPHIA」
9月18日(日)	ℳ		②「地域文化の検証・発信とメディアリテラシー」
10月2日(日)			
10月8日(土)	ℳ		③「自然科学に親しむ・触る・アートする」
10月8日(土)	ℳ	#	⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」Vol.2
10月15日(土)			③「自然科学に親しむ・触る・アートする」
10月15日(土)	ℳ		⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.1」
10月22日(土)	ℳ		
10月29日(土)	ℳ		③「自然科学に親しむ・触る・アートする」
11月12日(土)			④「オペラ『新しい時代』をめぐるワークショップ」
or/and 11月13日(日)			
11月12日(土)	ℳ	#	⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.1」
11月27日(日)			⑥「紛争・災害のTELESOPHIA」
12月11日(日)			
12月17日(土)	ℳ		⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.1」
12月17日(土)			
or 12月18日(日)			④「オペラ『新しい時代』をめぐるワークショップ」
12月24日(土)			
12月25日(日)			
2017年			
1月初旬			④「オペラ『新しい時代』をめぐるワークショップ」
1月8日(日)	ℳ		
1月29日(日)	ℳ		②「地域文化の検証・発信とメディアリテラシー」
1月29日(日)	ℳ		
2月25日(土)	ℳ	#	⑥「紛争・災害のTELESOPHIA」
3月4日(土)	ℳ	#	⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.1」
3月11日(土)	ℳ	#	①「展覧会『記憶の劇場』クロージング・シンポジウム」

ℳ…受講生に公開、#…一般に公開



連携機関アドバイザー

石橋 隆	公益財団法人 益富地学会館 研究員
尾西 教彰	兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ビッコロシアター) 業務部副課長
菅谷 富夫	大阪新美術館建設準備室 研究主幹
古矢 直樹	公益財団法人吹田市文化振興事業団(吹田メインアター) 常務理事・事務局長
松田 正弘	能勢浄るシアター 館長
宮地 泰史	あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール 企画事業担当チーフ・マネージャー
守屋 浩一	豊中市都市活力部文化芸術課

事業担当者

永田 靖	大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科(事業推進者)
橋爪 節也	大阪大学総合学術博物館
上田 貴洋	大阪大学総合学術博物館
伊藤 謙	大阪大学総合学術博物館
横田 洋	大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科
伊東 信宏	大阪大学文学研究科
渡辺 浩司	大阪大学文学研究科
古後奈緒子	大阪大学文学研究科
山崎 達哉	大阪大学総合学術博物館・事務局
濱村 和恵	デザイン



主催：大阪大学総合学術博物館

共催：大阪大学文学研究科

連携：あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

大阪新美術館建設準備室

公益財団法人吹田市文化振興事業団(吹田メインアター)

豊中市都市活力部文化芸術課

能勢浄るシアター

兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ビッコロシアター)

公益財団法人益富地学会館

助成：平成28年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

協力：大阪大学 21世紀懐徳堂

お問い合わせ：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13 (大阪大学会館内)
大阪大学総合学術博物館 文化芸術ファシリテーター育成講座事務局
yamazaki@museum.osaka-u.ac.jp

お問い合わせフォーム：https://kiogeki.org/

記憶の劇場

大阪大学総合学術博物館 一大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座

第1期 セミナー

1 「記憶の劇場」オープニング講座

公共施設やミュージアムの持つ今日的な意義と問題を学ぶとともに、海外における公共施設やミュージアムの実態などを知ります。

開催日：2016年7月23日(土)、24日(日)

場所：大阪大学総合学術博物館、大阪大学文学研究科

講師：永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)、山崎達哉(大阪大学総合学術博物館)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)

2 地域文化の検証・発信とメディアリテラシー



歴史ある文化的都市であるにもかかわらず大阪は、マスコミなどがリードする過度の“おもろイメージ”で語られがちです。この活動では、大阪が培ってきた文化的価値を、近代以降に中央公会堂など文化施設が集積した中之島と、江戸時代以来の芝居町で、繁華街である道頓堀の二つの地区をテーマに、地域史研究者と地域情報誌の編集者もまじえ、現地取材によって、自分たち自身の目でとらえた、街の姿や魅力を発信し、顕彰する小冊子の作成をシミュレーションします。

開催日：2016年9月18日(日)、10月2日(日)、2017年1月8日(日)、1月29日(日)

場所：大阪大学中之島センター、道頓堀から乗船、大阪市中央公会堂

講師：古川武志(大阪市史料調査会)、中島淳(140B)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)



3 自然科学に親しむ・触る・アートする



写真上より
©川崎悟司
©海洋堂、古田悟郎制作
©柴田純生
©金澤一水
©石橋隆

大阪大学総合学術博物館は、文理融合の研究と活動を行っています。本活動では、化石・鉱物のアートとしての魅力を紹介すると同時に、その科学的視点からも考察し、鉱物標本と本館蔵マチカネワニ化石をアートとして表現する活動を行います。講師には、川崎悟司、柴田純生、古田悟郎、石橋隆を招へいます。“理系研究者”と“自然科学を題材とする作家”が作り出すアートの世界を通して、アートにおける科学リテラシーの“最初の一歩”を体感して頂きます。

開催日：2016年10月8日(土)、10月15日(土)、10月22日(土)、10月29日(土)

場所：大阪大学豊中キャンパス、(株)大成モナック本社

講師：川崎悟司(インディペンデント・イラストレーター)、柴田純生(京都造形芸術大学)、古田悟郎(株式会社海洋堂)、石橋隆(公益財団法人益富地学会館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)



第2期 活動

5 パフォーミング・ミュージアム Vol.1



演劇学研究室に寄贈された「森本薫関係資料」が博物館に寄託されている。この資料を調査し、関西出身の近代日本を代表する劇作家森本薫の作品や生涯を理解する。その上で、ご子息の森本年氏をお招きしてシンポジウムを開催すると同時に、若手演出家山口浩章氏の演出によって、この資料を元にした森本薫に関する演劇(パフォーマンス)を上演する。受講生は演劇の上演に関わりながら、森本薫の現代的な読み直しを試みるとともに、博物館資料の動的活用を学ぶ。

開催日：2016年10月15日(土)、11月12日(土)、12月17日(土)、2017年3月4日(土)

場所：大阪大学豊中キャンパス、大阪大学中之島センター

講師：森本年、山口浩章(このしたやみ)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)

今回の活動は、三輪眞弘氏のオペラを、2017年度に上演することを目指し、その企画と準備を進めます。三輪眞弘氏は、声や音をめぐって、人間と機械の皮膜を凝視するような作品を次々と生み出している作曲家ですが、氏のオペラ『新しい時代』は2000年に上演されて話題をさらった後、今に至るまで再演されていません。神戸連続児童殺傷事件(1997年)やオウム真理教事件(1990年代)などを暗示しながら、今こそアクチュアルな問題をはらんだオペラ『新しい時代』再演を目指し、2016年度は、まずはその前哨戦とも言える演奏会の企画、実施を考えて行きます。

開催日：2016年11月12日(土) or/and 11月13日(日)、12月17日(土) or 12月18日(日)、12月24日(土)、12月25日(日)、2017年1月初旬

場所：IAMAS、大阪市内、ザ・フェニックスホール、大阪大学豊中キャンパス

講師：三輪眞弘(IAMAS)、谷本裕(沖縄県立芸術大学)、藤井昭子(愛知県芸術文化センター)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)

4 オペラ『新しい時代』をめぐるワークショップ



6 紛争・災害のTELESOPHIA

本活動では、紛争や自然災害等で破壊・喪失してしまった有形無形の文化・芸術・芸能を調査し、またその復興の過程において人びとが新しく、もしくは再び形成したコミュニティや共同体の志向を考察し、その結果を上演や展覧会にて発表します。特に阪神淡路大震災に焦点をあて、被害に遭った大阪から神戸そして淡路の範囲において調査を行い、破壊・喪失してしまった有形無形の文化・芸術・芸能の復興事例を検証します。復興の過程における人々の共生意識の変化に着眼し、受講生と共に、多種多様な人と出会い、調査・考察を深めていきます。

開催日：2016年8月6日(土)、8月13日(土)、9月11日(日)、11月27日(日)、12月11日(日)、2017年1月29日(日)、2月25日(土)

場所：大阪大学豊中キャンパス、国立民族学博物館

講師：日高真吾(国立民族学博物館)、伊藤拓也(演出家)、富田大介(追手門学院大学)、古川友紀(散歩家/ダンサー)、山崎達哉(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学文学研究科・大阪大学総合学術博物館)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)



撮影:岡田裕成-2013

7 ドキュメンテーション/アーカイヴ



撮影:穴戸里帆

現代のアートをめぐるドキュメンテーション/アーカイヴの可能性を、作品とその生成をめぐる記憶、記録メディアとそれをつくる・つかうアクションのダイナミクスに注目して探ります。そのため Vol.1 では維新派公演の撮影監督も務める映像作家を講師に迎え、舞台芸術の記録という観点からカメラワークについて学びます。Vol.2 では、記録を創作や教育に用いる芸術家と研究者の関心や方法を交換する場をつくり、記憶を活性化し共有するドキュメンテーション/アーカイヴのあり方を学びます。

開催日：Vol.1：2016年8月11日(木・祝)他、Vol.2：2016年8月12日(金)、9月9日(金)、9月10日(土)、10月8日(土)他

場所：中之島センター、アートエリアB1 他

講師：立川晋輔、清水翼(維新派)、ささきようこ(南山大学)、筒井潤(dracom)、松本篤(remo[NPO]法人記録と表現とメディアのための組織) | 東京大学大学院、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)

1 展覧会「記憶の劇場」

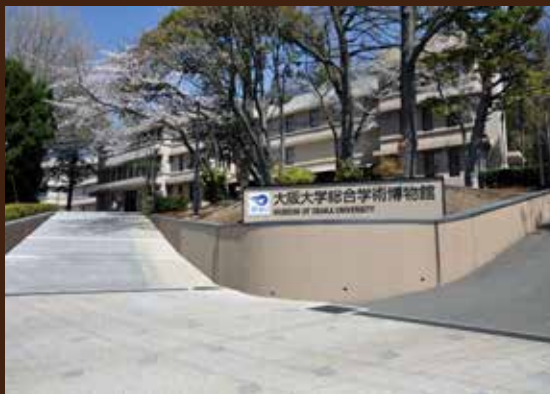
1年間にわたる本事業の総括として各活動の成果を展示という形で公開することで、ミュージアムでの新しい展示の方法を学びます。大学知とミュージアムの理念の融合かつ文理融合的かつ総合的な芸術ファシリテーターとしての活動成果発表の場でもあります。

会期：2017年2月27日(月)～3月11日(土)

会場：大阪大学総合学術博物館

＊クローージング・シンポジウム：2017年3月11日(土)、大阪大学豊中キャンパス

講師：永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)、山崎達哉(大阪大学総合学術博物館)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)



第3期 展覧会